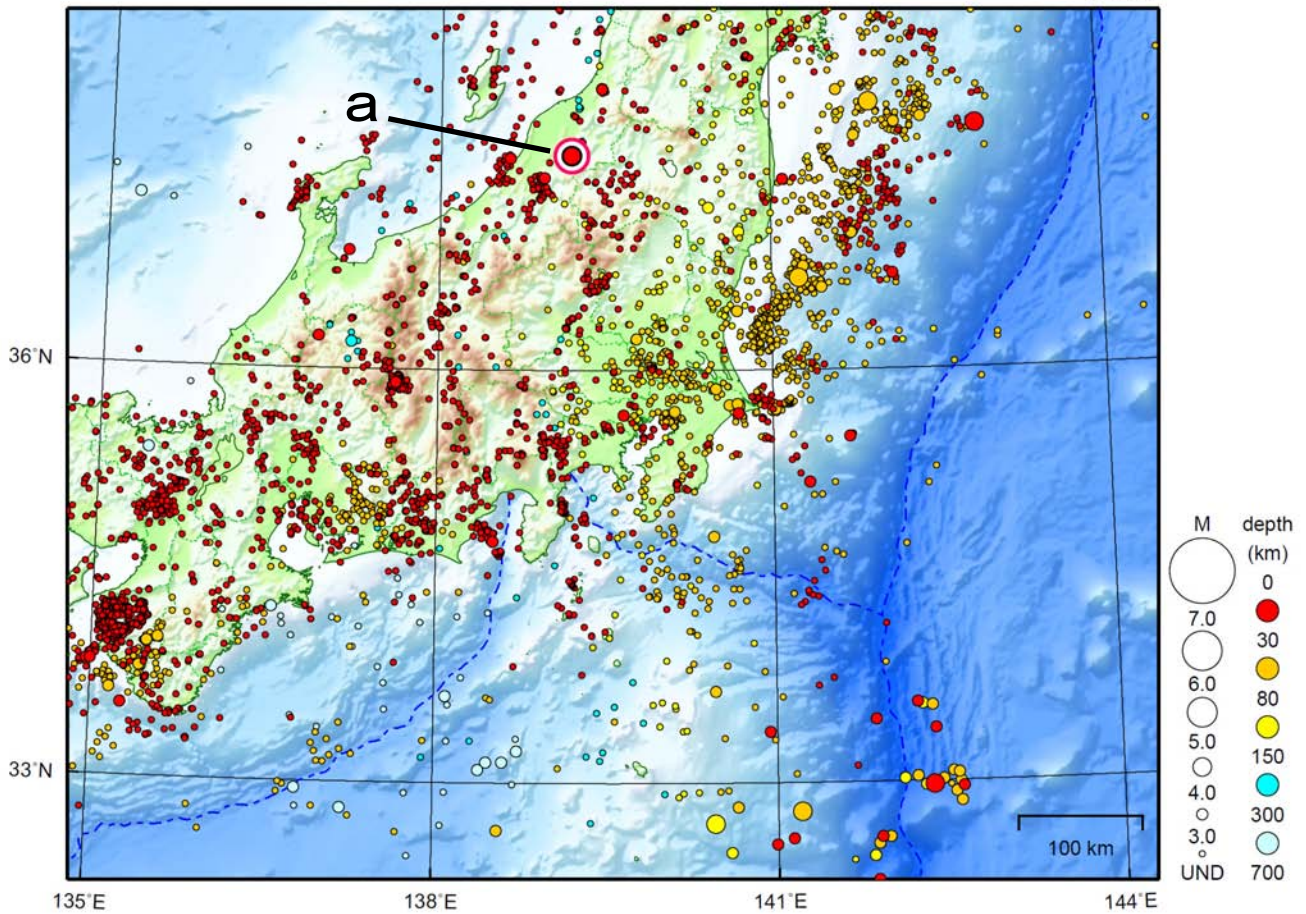


関東・中部地方

2010/05/01 00:00 ~ 2010/05/31 24:00

N=4553



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 5月1日に新潟県中越地方でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。

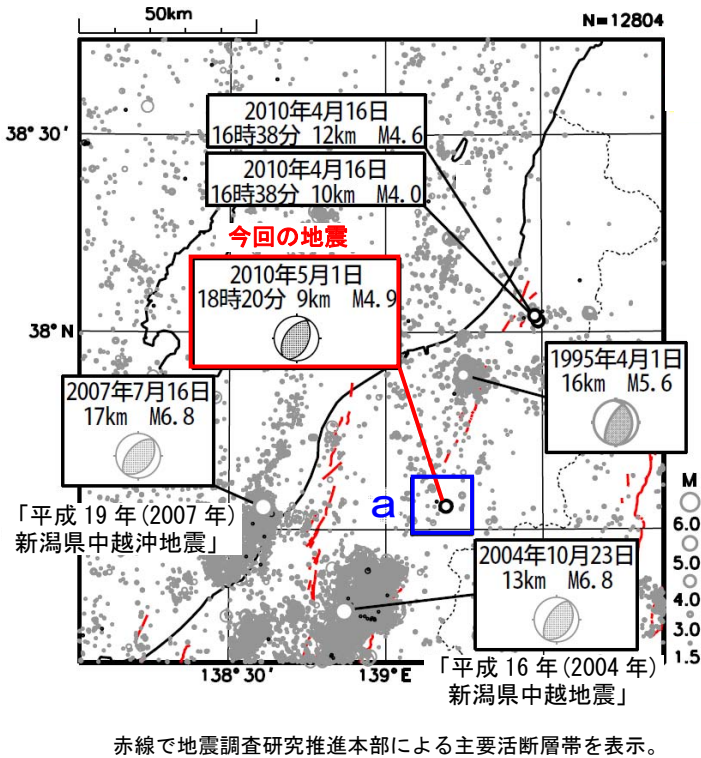
（範囲外）

5月3日に鳥島近海でM6.1の地震（最大震度2）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

5月1日 新潟県中越地方の地震

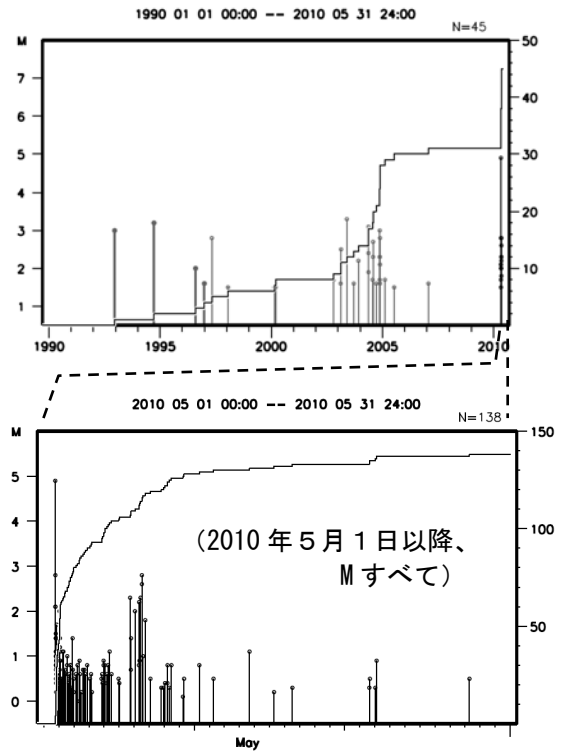
震央分布図 (1990年1月1日~2010年5月31日、
深さ0~30km、M≥1.5)
(2010年4月以降の地震を濃く表示)



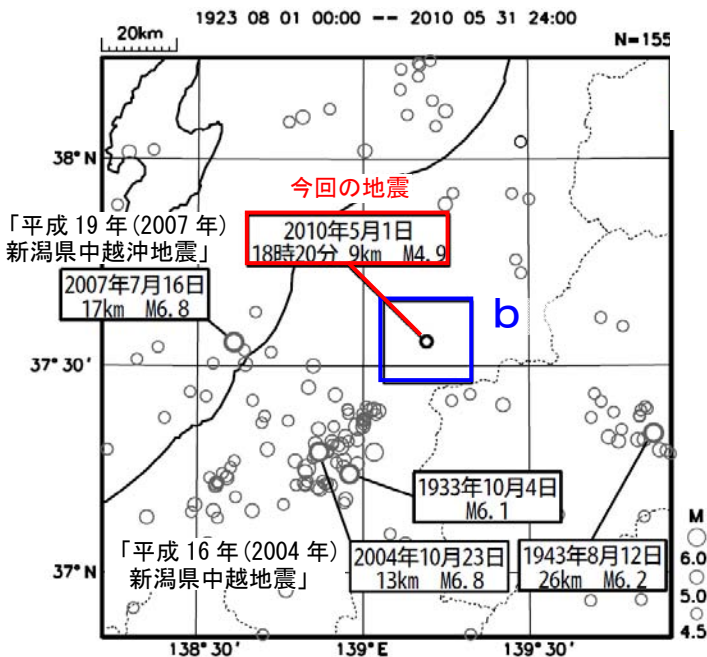
2010年5月1日18時20分に新潟県中越地方の深さ9kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震により負傷者1人などの被害が生じている(総務省消防庁による)。今回の地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で陸域の地殻内で発生した地震である。5月31日現在、余震活動は収まってきている。

1990年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M4.0を超える地震は発生していない。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



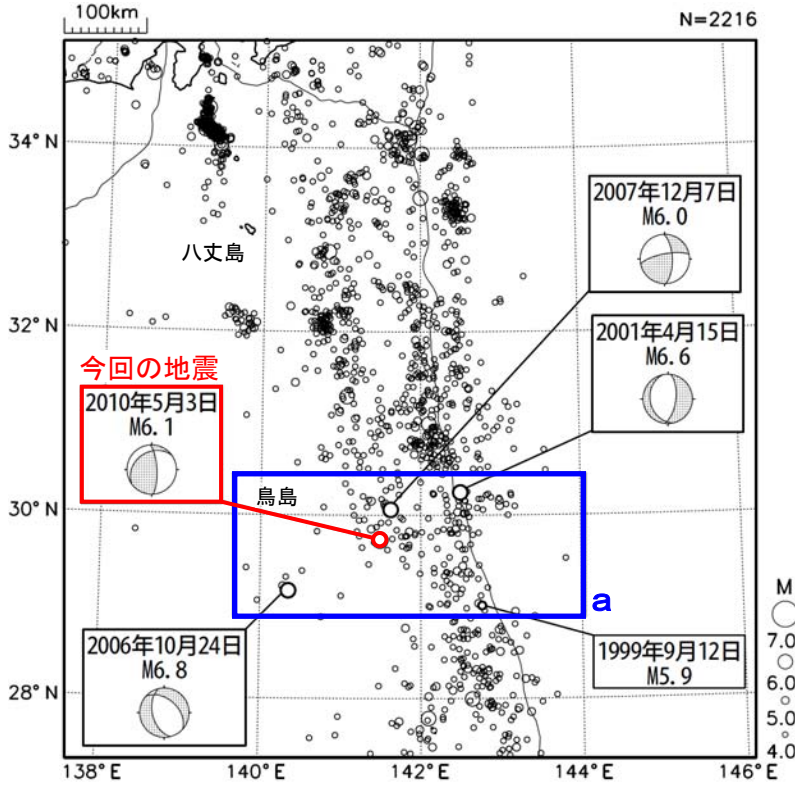
震央分布図 (1923年8月1日~2010年5月31日、
深さ0~90km、M≥4.5)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M5.0を超える地震は発生していない。

5月3日 鳥島近海の地震

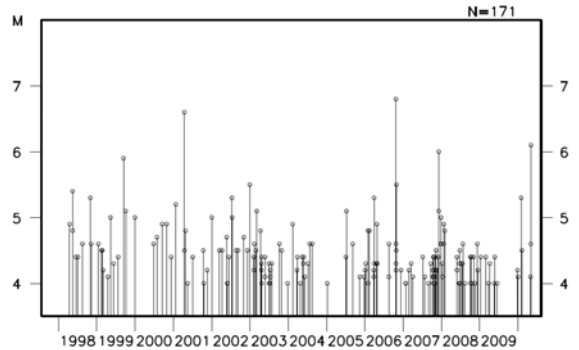
震央分布図 (1997年10月1日~2010年5月31日、
M \geq 4.0、深さ0~100km)
発震機構は気象庁によるCMT解である。



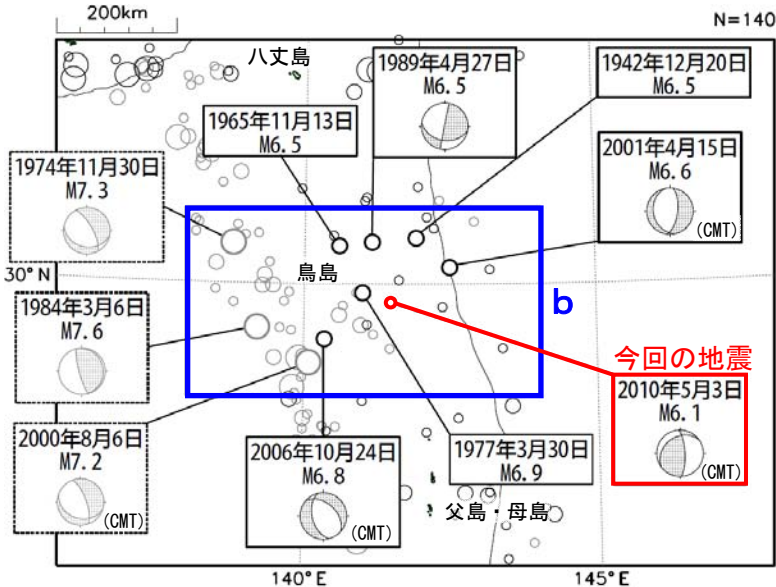
2010年5月3日19時27分に鳥島近海でM6.1の地震 (最大震度2) が発生した。目立った余震活動は観測されていない (5月31日現在)。今回の地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2006年10月24日にM6.8の地震が発生し、日本の太平洋沿岸や伊豆・小笠原諸島で最大の高さ16cmの津波を観測した。

領域a内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月1日~2010年5月31日、
M \geq 6.0、深さ0~500km)
震源の深さが150kmより浅い地震の震央を濃く表示。



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、深さ150kmより浅い場所ではM6.5以上の地震がしばしば発生しているが、M7.0以上の地震は発生していない。それより深い場所では、しばしばM7.0以上の深発地震が発生しており、1984年3月6日にはM7.6の地震が発生し、死者1人等の被害を生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図
(深さ0~150km)

